

新年会に何と 29名が参加

—記念すべき 2000年の OMC事始め—

2000年の1月9日夜‘さと’にて新年会を開催したところ、OMC始まって以来の29名という大勢の会員さんが大集合、感激しました。例会にはほとんど、お顔をお見せにならない方も新年会だけでも、といった会員さんもいらっしゃいます。みんなとワイワイ食事しながらのビデオ談義は楽しいもので、大いに盛り上がりました。

新年会開催前に行われた総会では、会長をはじめ全世話役の留任が決まりました。今年度は特に作品研究会の内容充実に力を入れるべく年間スケジュールが立てられ 関副会長より発表されました。希望者による撮影旅行やテーマを決めての撮影会及び作品研究会など盛りたくさんの企画です。

総会議事

(1) 会計報告 (2) 大阪ムービーサークル会則制定の件 (3) 役員選出及び役割分担 (4) 作品研究会年間計画表、以上の案件につき全員拍手で承認されました。

今期は第40回と言う一つの節目になる映像フェスティバルも控えています。基本的には、よい作品を揃えて観て頂くということであり、皆さん、これぞ“我がグランプリ” 作品めざし、元気で頑張りましょう。

2月例会のお知らせ

2月例会は26日(第4土曜) PM6時より阿倍野市民学習センター(あべの・ベルタ3階)で開催します。どうぞ作品をお持ちになって、お越し下さい。寒い季節ですが楽しいひとときを過ごしましょう。

2月の作品研究会は雪景色の撮影実習です

雪待ちで日時が未定ですが、余呉を予定しています。
撮影会参加希望の方は、あらかじめ合原又は関世話役に連絡しておいてください。
従って例会場での昼間の研究会は今は 無し です。
「冬景色」をテーマの作品研究会は 3月14日(火) 18時半 より例会場で行いますので、その節はどうぞお集まり下さい。

1 月作品研究会のレポート

外は寒さ厳しい日、研究会会場は冷房をいれたい程の暖かさ。1月22日、今月のテーマは「光と影」。難しいテーマなのではたして、何本集まるかと心配されたが、9本が出てびっくり。皆さんの研究熱心が伺われました。

今回はコンテスト形式はとらず作品1本1本を心ゆくまで意見を出し合い作者の意図等も聞いて研究会らしい進行をいたしました。出席15名。

上映・研究会作品

(1)「闇の不安」安居氏 3分40秒

編集段階でネガ化やフラッシュ光線挿入など、手の込んだ編集。氏の新分野開拓といった趣きだが“不安”のイメージが出ず成功とはいえません。少し特殊効果のやりすぎとの評価。

(2)「彫像たちと一日を…」増池氏 4分

鞆公園で毎秋行われている彫像展の彫像を中心に正当派的にまとめられたが、課題のりんくうタウン彫像とのからみがやや唐突の感。皆、この課題の彫像の関連づけに苦勞の由。

(3)「時の流れに」有村氏 4分54秒

五輪まゆみの同名の歌に合わせてつくられたもの。御堂筋の彫像、梅田の大観覧車。ネオンの灯り、波映など多彩な光と影のカットで、課題のりんくうタウン彫像の挿入もそつなく入れられて好評でした。

(4)「関空彫刻の幻影」奥氏 3分7秒

前半関空風景と後半の彫像との結びつきが不自然。幻影がテーマなら今は無いりんくうタウン公園にあった、かつての彫像との対比に絞るべきでした。ガラーンとした広場場面が…。

(5)「夕暮れから」江村氏 3分20秒

水槽の魚と向こう側の女の子の顔、出だしは快調でしたが、りんくうタウンの課題像との関連がまいち…。

(6)「夜の美」那須氏 4分

課題のりんくうタウン像の夕景から神戸ポートアイランドの夜景へと進み、ルミナリエと花火でしめくり。まさに夜の美を如何なく発揮した作品でした。こういう題名なら作りやすいとの声もありました。

(7)「夜のとばり」安居良枝さん 3分10秒

編集段階でネガ化、多像化、アンダー化など、いろいろ試みられたのはご主人の作品と同じで新分野をみざされたのは判るが、いささか細工し過ぎとの助言がありました。

(8)「光景幻想」合原氏 4分

氏には珍しいノンナレの一見“心象”風作品。編集段階での二重写しで、夜の川面に映えるネオンの波映をベースに彫像とかネオン、十字架、スタンドガラスの絵、ルミナリエと続きます。

(9)「トワイライト」関氏 3分40秒

課題の夕暮れの中の像と道頓堀のネオンやショーウィンドー、動く人形など、手際よくさすが関作品でした。

以上で課題研究作品「光と影」は終了、皆いっしょ勉強になったと、ご満足の様子でした。次回テーマは「冬景色」3月14日(火)18時30分からです。

1 月例会レポート

1月例会は22日、作品研究会に引き続き、6時より行なわれました。新しく上総さんの紹介で河合源七郎さんが入会され、早速作品を御披露されましたが、なかなかの腕前と拝見しました。今後は楽しみの方です。

今月の司会は安居さんが始めて担当、書記に合原さん、デッキ係、奥さんと渡辺さん、受け付け兼照明は増池さんの担当で会を進行しました。

出席者:有村、今井、江村、奥、上総、合原、関、中尾、那須、華岡、藤原、前田、増池、宮崎、森、森下、安居夫妻、渡辺、河合、以上20名

新入会者:河合源七郎 545-0031 大阪市阿倍野区橋本町7-18 Tel 06-6653-9302
よろしくお願ひいたします。

上映作品 (今月の短評は合原会長です)

(1) **ラオスの素顔** 河合 源七郎さん 10分20秒

新入会者の手みやげ替わりの作品第一弾。なかなかどうしてうまくまとめられた作品です。朝市風景、僧の托鉢の様子、滝などの自然の風景や仏像のある公園、夕陽でエンドです。ラオスの映像は始めてでした。

(2) **国のまほろば** 有村 博さん 7分0秒

東大寺の萬灯供養を中心に新しく始められた燈花会という行事など、しっとりした奈良のお盆の頃を描かれた作品。まほろばとは国の心のふるさとといった意味合いとか。送り火の大字の灯のZBもラストカットらしくてよかったですと思います。

(3) **五箇山辺りを訪ねて** 増池 茂さん 8分0秒

合掌の里に、素朴な村まつりを訪ねて撮影してこられました。うまくまとめてありますが、BGMがナレーションのところで完全に消えてしまうので、機材の面もありますがやはりムードをこわしますので課題として研究してみてください。ラストカットは道路でしたが、その前の山並みとかえた方が印象的でよいように思いました。

(4) **哲学の道界隈に秋を求めて** 奥 宏さん 6分32秒

天気が悪かったのが残念。紅葉、人、仏像、等を撮られていて、ほとんど行った順序につないでありますが、永観堂の紅葉が一番きれいなので、それをラストにもってきたらどうかと有村世話役から助言がありました。タイトルが長過ぎるのも、考えものです。

(5) **雪景色** 那須 典彦さん 8分5秒

全国あちこち冬に旅行されて撮影された映像から、雪景色のカットを集大成した作品。地獄谷の温泉猿のラストが生きていました。BGMが単調なので5分ぐらいに縮めたらという声もありましたが美しい映像でした。

(6) 宇治探訪 安居 利次さん 5分40秒
宇治橋や平等院にまつわる話、戦いのあった頃の宇治の状況など、いつものようによく調べて歴史の勉強になりましたが、後半は天ヶ瀬ダムへ移り、奥さんが自殺志願者に間違えられたエピソードなどが出て、前半の歴史の話と混乱します。短編ですから何を表現したいか絞りたいところです。

(7) 大阪南港 安居 良枝さん 4分40秒
前月出品の「大阪南港あたり」で関さんから指摘を受けたので、作りなおしてきたと作者の弁。カットもがらり入れ替えられました。生まれた時、このあたりは海だった。今は若者の街、というねらいの作品なら、もっとWTCビルの屋上からの場面を減らし、若者のカットを増やすべきだと再度指摘がありました。“再び 大阪南港”に期待。

(8) 当尾曼陀羅 関 剛さん 5分45秒
OVC撮影会作品で、最優秀作品。さすが関さんだけあって、逆光を活かした画面や構図のうまさは抜群、参考になる作品です。一部農婦の農作業カットだけが、セピア色でコマ落しのよな画面になっていますが少し違和感を覚えました。あのカットだけ人がいるが、どうしても入れたかったので色を変えて遊離しないようにした、とは作者の弁でしたが……。

(9) リバイバルある日の日本橋」エアリアルテスト 前田 茂夫さん 10分
S47年—48年東京日本橋交叉点で撮られたフィルム作品を自作のテレシネ装置を使ってビデオ化したテレシネ作品。メーカーに頼んでテレシネしたもの以上に美しい仕上がりでびっくりしました。また、その装置の仕組みも最後に紹介されています。テレシネしたい方は前田さんに相談してみてください。なお、作品としても名物お巡りさんの声が面白く、懐かしく拝見しました。(註) 装置は反射鏡と凸レンズを使った空中像方式です。

以上で上映を終り、例によって呑み屋組と喫茶店組に分かれて、夜の街へと繰りこみました。

内容も一段と充実、盛会だった

第 6 回日本を縦断する映像発表会

去る1月29日(土)午後、阿倍野市民学習センターで行なわれた同上映会は、予想以上の観客数があり、大変盛会でした。内容的にもバラエティに富み、レベルの高い作品が並んで、好評でした。有村世話役の「煙の挽歌」を始め、三大グランプリ作品は、さすが往年の名作だけに重厚なドキュメンタリー作品は、迫力がありました。

また「神おわす社」や「山からの便り」の非常に美しい画面は、ため息が出るほどでしたし、「黒部川源流・上の廊下に行く」も自然の驚異を改めて感じさせてくれました。ご来賓も川上勝悟氏をはじめ広島の松原氏等十数名のご来場がありました。